※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の音楽１　（教育芸術社）						
副教材等	Ｎｅｗ Ｒｅｃｏｒｄｅｒ Ｌｉｂｒａｒｙ（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽という媒体を通して、自分を広く表現することを最大の目標として学習活動を行います。
そのために、歌唱(独唱・重唱)・器楽(リコーダー独奏)などの技術を高めてゆきます。
その到達度は実技テストでの演奏発表や、授業中に配布するワークシートで評価しますが、日常の授業に臨む姿勢なども重視します。また、学校という場で行う学習活動ですから、自分の技術を磨くのみではなく、他者の演奏発表を聴く機会なども大切にします。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、自己表現能力を身につける。そのために以下の通り目標を設定する。
（１）歌唱・器楽を演奏するために必要な音楽的知識と技能を習得する。
（２）聴き手に内容を伝えるための表現方法を考える。
（３）定期的に演奏発表の機会を設け、積極的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽に関する創造的な諸活動を行うための知識や技能を習得する。	創意工夫を生かした音楽表現をするための、思考力、判断力を身につける。	実際に演奏発表や作品発表を行うにあたり、意欲的、計画的に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歌唱	独唱	a:基本的な読譜力、外国語歌詞を読む能力、基本的発声技術を習得しているか。 b:さまざまな音楽的表現の工夫をしているか。 c:演奏発表に向けての練習などを、計画的に実行しているか。	主にワークシートによって評価する。	ワークシートと演奏発表によって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。
	器楽	アルトリコーダー独奏	a:基本的な読譜力、基本的なアルトリコーダーの運指や吹奏技術を習得しているか。 b:さまざまな音楽的表現の工夫をしているか。 c: 演奏発表に向けての練習などを、計画的に実行しているか。	主にワークシートによって評価する。	ワークシートと演奏発表によって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。
後期	歌唱	重唱 合唱	a: 発展的な読譜力や外国語歌詞の読み方、応用的発声技術を習得し、他のパートとのバランス等に配慮して演奏できるか。 b: 音楽的表現について、更なる工夫をしているか。 c: 演奏発表に向けての練習などを、計画的に実行しているか。	主にワークシートによって評価する。	ワークシートと演奏発表によって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。
	器楽	箏の取り扱い アルトリコーダー重奏	a:基本的な箏の構造や扱い方を理解できているか。アルトリコーダーを他のパートとのバランス等に配慮して演奏できるか。 b: 音楽的表現について、更なる工夫をしているか。 c: 演奏発表に向けての練習などを、計画的に実行しているか。	主にワークシートによって評価する。	ワークシートと演奏発表によって評価する。	日常の練習状況と演奏発表によって評価する。
	鑑賞	歌唱・器楽で取り上げた題材による鑑賞	a:鑑賞に必要な基礎知識を身につけているか。 b:鑑賞によって得たものを、自己の表現活動に生かしているか。 c:主体的に鑑賞活動に取り組んでいるか。	ワークシートによって評価する。	ワークシート、また事後の表現活動によって評価する。	取り組みの状況を評価する。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度